

平成29年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月3日

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梅森 輝信

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 小関 幸太郎

TEL 0568-23-3111

四半期報告書提出予定日 平成29年3月14日

配当支払開始予定日

平成29年4月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第2四半期の連結業績(平成28年8月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第2四半期	3,762	—	200	—	203	—	118	—
28年7月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年7月期第2四半期 127百万円 (—%) 28年7月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第2四半期	66.75	—
28年7月期第2四半期	—	—

※平成29年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年7月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年7月期第2四半期	6,856	3,353	48.9
28年7月期	—	—	—

(参考) 自己資本 29年7月期第2四半期 3,353百万円 28年7月期 一百万円

※平成29年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年7月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	3.50	—	27.00	—
29年7月期	—	20.00	—	—	—
29年7月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年2月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成28年7月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 平成29年7月期の連結業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	—	296	—	300	—	160	—	90.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）
（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年7月期2Q	1,798,800 株	28年7月期	1,798,800 株
② 期末自己株式数	29年7月期2Q	21,469 株	28年7月期	21,469 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年7月期2Q	1,777,331 株	28年7月期2Q	1,777,397 株

※平成28年2月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成28年7月期の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きがみられ、雇用・所得環境においては改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは海外事業の強化、ソリューションビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は3,762百万円、営業利益は200百万円、経常利益は203百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は118百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを従来の単一セグメントから、「包装機械」と「生産機械」の2つのセグメントに変更しております。

①包装機械事業

主力の給袋自動包装機を中心に売上高は3,060百万円、営業利益は237百万円となりました。

②生産機械事業

大型のプラント案件を中心に売上高は701百万円、営業利益は38百万円となりました。

当社グループの各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は6,856百万円となりました。主な内訳は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が1,649百万円、現金及び預金が1,426百万円、棚卸資産が910百万円、のれんが714百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,503百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が1,417百万円、長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）が914百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,353百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,326百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、101百万円となりました。収入の主な内訳は、たな卸資産の減少額412百万円、売上債権の減少額253百万円等であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額624百万円、前受金の減少額237百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,408百万円となりました。これは、主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,504百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、813百万円となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入900百万円等であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額47百万円、長期借入金の返済による支出38百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月期通期連結業績予想につきましては、平成28年12月2日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年9月1日付でオサ機械株式会社の全株式を取得し、子会社化しておりますので、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、これまで非連結子会社としていた蘇州日技通用包装机械有限公司は、重要性が増したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成29年1月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,426,547
受取手形及び売掛金	1,441,015
仕掛品	564,155
原材料及び貯蔵品	346,793
未収入金	224,474
その他	76,031
流動資産合計	4,079,017
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	443,882
土地	683,100
その他（純額）	28,213
有形固定資産合計	1,155,196
無形固定資産	
のれん	714,669
技術資産	644,127
その他	154,116
無形固定資産合計	1,512,913
投資その他の資産	109,696
固定資産合計	2,777,806
資産合計	6,856,824
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,417,080
1年内返済予定の長期借入金	111,996
未払法人税等	87,015
賞与引当金	8,354
製品保証引当金	18,343
その他	618,876
流動負債合計	2,261,667
固定負債	
長期借入金	802,672
役員退職慰労引当金	70,660
退職給付に係る負債	35,862
その他	332,140
固定負債合計	1,241,335
負債合計	3,503,002

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成29年1月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	251,577
資本剰余金	282,269
利益剰余金	2,823,947
自己株式	△20,134
株主資本合計	3,337,658
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	17,162
為替換算調整勘定	△998
その他の包括利益累計額合計	16,163
純資産合計	3,353,822
負債純資産合計	6,856,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)
売上高	3,762,384
売上原価	2,841,757
売上総利益	920,626
販売費及び一般管理費	719,854
営業利益	200,772
営業外収益	
受取利息	92
受取配当金	334
仕入割引	1,570
その他	3,721
営業外収益合計	5,717
営業外費用	
支払利息	2,793
その他	408
営業外費用合計	3,202
経常利益	203,287
特別利益	
固定資産売却益	69
特別利益合計	69
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	203,357
法人税、住民税及び事業税	81,115
法人税等調整額	3,601
法人税等合計	84,717
四半期純利益	118,640
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,640

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)
四半期純利益	118,640
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	5,552
為替換算調整勘定	3,248
その他の包括利益合計	8,800
四半期包括利益	127,441
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	127,441

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成28年8月1日
至 平成29年1月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	203,357
減価償却費	67,031
のれん償却額	15,205
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,840
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,500
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,860
受取利息及び受取配当金	△426
支払利息	2,793
売上債権の増減額(△は増加)	253,599
たな卸資産の増減額(△は増加)	412,108
未収入金の増減額(△は増加)	△61,095
仕入債務の増減額(△は減少)	△624,842
前受金の増減額(△は減少)	△237,379
その他	△108,503
小計	△102,632
利息及び配当金の受取額	431
利息の支払額	△2,776
法人税等の支払額	△4,353
法人税等の還付額	7,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101,424
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	10,189
有形固定資産の取得による支出	△7,363
無形固定資産の取得による支出	△8,001
定期預金の預入による支出	△201,016
定期預金の払戻による収入	301,012
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,504,796
その他	1,807
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,408,167
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,100,000
短期借入金の返済による支出	△1,100,000
長期借入れによる収入	900,000
長期借入金の返済による支出	△38,332
配当金の支払額	△47,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	813,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,538
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△693,382
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	40,673
現金及び現金同等物の期首残高	1,978,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,326,037

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。